

令和4年度（2022年度）文書指導事項の状況【非常災害対策】

○指摘事項の具体的な内容（主なもの・概要）

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災を想定した避難訓練は実施されているが、<u>地震、風水害を想定した訓練</u>を行って いなかった。 ・ 非常災害に備えるため、定期的に避難、救出その他必要な<u>訓練が実施されていない</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業者や利用者に対し、自然災害についての基礎的な知識や非常災害計画の理解を高 めるための<u>防災教育（研修を含む）</u>を実施していなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常災害に関する具体的な計画を立てなければならないが、<u>計画策定がされていない</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した<u>消防計画</u>について、消防署に<u>届け出</u>を行っていなかった。 ・ <u>防火管理者</u>を定めたが、消防署等に<u>届け出</u>を行っていなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常災害に関する具体的な計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連絡体制を 整備し、風水害を含む自然災害を具体的に想定した上で<u>非常災害時の対策</u>を策定した 上でそれらを定期的に<u>従業者に周知</u>されていなかった。

<参考>

○ 業務継続計画（非常災害）の作成状況

令和5年4月1日時点調査（暫定集計）

種別	策定数	策定率
指定障害福祉サービス事業所等（GH 除く）	1,049/2,562	40.9%
指定障害福祉サービス事業所等（GH）*住居単位	696/1,512	46.0%
指定障害児通所支援事業所等	337/ 864	40.5%